

地震に負けず地域にエールを 第33回南ヶ丘小運動会



3年生が4～5人1組で取り組む競技「台風の目」。協力し合い、足並みをそろえて次の組にバトンを渡した

5月30日、南ヶ丘小学校で運動会が開催されました。新学期開始直後に地震に見舞われ、9日間の休校を経て再開した学校生活。子どもたちは約2週間の練習を積んで本番に臨みました。

「全力・協力・笑顔」というテーマどおり、一生懸命競技に取り組み、観る人の心を強く、明るく元気づけた子どもたち。校長の二殿一身先生は「災害の後だからこそ、子どもたちが目標に向かって一つになることが大切。今日はみんなが頑

張った分だけ大きな力が発揮できた」と、子どもたちの努力をたたえました。



応援団長による全力の開会宣言。応援合戦では地震の被災者に向けたエールも送られた



1・2年生のダンス、テーマはスマイル

赤ちゃんの誕生で 人口60,000人を突破



田所さんご家族。左から母・藍子さん、次女・茉里香ちゃん、長女・茉々花ちゃん、父・真任さん

平

成18年2月27日の合併時に52、516人だった本市の人口が、3月30日に6万人を超えました。

記念すべき6万人目となったのは、ことし3月22日に生まれた田所茉里香ちゃん（新開）。6月9日、これを記念して6万人目認定授与式を開催し、田所さんご家族に認定証と花束、合志産のスイカなどの記念品が贈られました。

父・真任さんは「子育てがしやすいまちと聞き、平成23年に越してきて2人の娘に恵まれました。この子

が6万人目というサプライズまで持つてきてくれて、本当にうれしく思います」と喜びを語りました。

本来、この認定式は4月15日に行なう予定でしたが、熊本地震により延期になっていました。当時、田所さんご家族は益城町にいました。式のため14日の前震直前に合志市の自宅に戻っていました。「茉里香はとても強運の持ち主なのか」と藍子さん。茉里香ちゃんを見つめ、田所さんご夫婦は目を細めました。

ちどりふで

今月の表紙は、上庄区の皆さんが約10年前から大切に育てているホタルです。現在も、上庄魅力化推進委員会が中心となって草刈りやごみ拾いをして生息環境を整え、幼虫を育て、合志小学校の児童と一緒に放流しています。熊本地震の影響で恒例のホタル祭りは中止となりましたが、ことしは例年以上の数が見られたと評判でした。ふるさとの魅力が地域の人の手で生まれ、受け継がれている。そう思うと心が温かくなりました。

地震で失われたものもありますが、残されたもの、守られたもの、新しく得たものもあります。大切なのは、今ある命、環境に感謝して今日を生きることに。豪雨がが続いています。今後の台風にも注意して、みんなで乗り切りましょう。

人の動き

人口	60,228	(+117)
世帯	23,084	(+59)
出生	54	(+1)
死亡	47	(+11)
転入	301	(-60)
転出	204	(-71)

※5月末現在
()内は前月比

